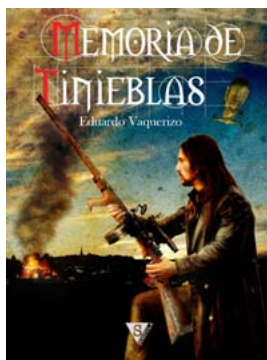
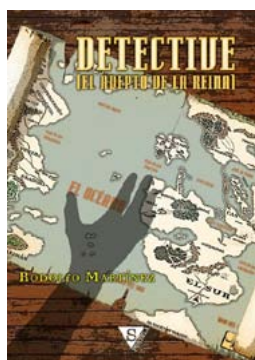


IGNOTUS 2014

今年の第32回ヒスパコンも昨年と同様、12月に入ってから、バルセロナ近郊のモンカダ・イ・レシャック (Montcada i Reixac) での開催。愛称は開催地の頭文字から MIRCON となった。さて、今年のイグノトゥス賞だが、短編集、オーディオビジュアル、外国長編、短編は今年も昨年と同じシリーズ、作者が取るといった事態になった。また、短編集部門の「テラ・ノバ」からは外国短編部門賞作品も出している。エッセイ部門の候補作には「超自然的日本」(Japón sobrenatural) という作品もあった。



「暗闇の記憶」



「探偵」

◆国内長篇

「暗闇の記憶」 エドゥアルド・バケリソ
"Memoria de tinieblas" Eduardo Vaquerizo

◆国内中篇

「探偵(女王の臣下)」 ロドルフォ・マルティネス
"Detective (El adepto de la reina)" Rodolfo Martínez

◆国内短篇

「世界の果ての空港」—短編集「眺望2012」収録
タマラ・ロメロ
"El aeropuerto del fin del mundo"
en la antología "Visiones 2012"
Tamara Romero

◆短篇集

「テラ・ノバ」Vol.2 マリアノ・ビジャレアル &
ルイス・ペスタリーニ
"Terra Nova" Vol.2 Mariano Villarreal y Luis Pestarini

◆エッセイ

「『レセプト』のSF100選」 セルヒオ・マルス
(「レセプト」はPDF形式で発表されたE-Zine)
"La 100cia ficción de Rescepto" Sergio Mars



XXXII HispaCon
del 6 al 8 de diciembre
MIRCON
МОИТСОДД I ЯЕИЖДС
2014

◆イラストレーション

「暗闇の記憶」表紙 エドゥアルド・バケリソ画
Portada de "Memoria de tinieblas"
ilustrado por Eduardo Vaquerizo

◆オーディオビジュアル

「ヒューゴー賞メッタ斬り」(ポッドキャスト)
(首切役人(verdugo)にHugoをかけてある造語)
ミケル・コドニー、エリアス・コンバロ、セップ・マリア・オリオル、
ペドロ・ロマン
"Los VerdHugos" Miquel Codony, Elías Combarro,
Josep María Oriol y Pedro Román

◆アーティクル

「スペインのSF」マリアノ・ビジャレアル
"La ciencia ficción española" Mariano Villarreal
(Web El rincón de Koreander)

◆ウェブサイト

「第3ファウンデーション」
La tercera fundación (www.tercerafundacion.net)

◆外国長篇

「言語都市」チャイナ・ミエヴィル
"EMBASSYTOWN
— La ciudad embajada —"
(原題"Embassytown")
China Miéville



◆外国短篇

「歴史を終わらせた男：」ケン・リュウ
短編集「テラ・ノバ」Vol.2収録
"El hombre que puso fin a la historia: documental"
(原題"The Man Who Ended History: A Documentary")
Ken Liu

コミック(Tebeo)、詩(Obra poética)の部門は「該当作なし」となった。